

翠川昭久と

み
ど
り
か
わ
て
る
ひ
さ

11人の彫刻家

2021年

9月27日〔月〕 — 11月14日〔日〕

翠川昭久
《脱2》1985年、石膏（個人蔵）

主催 市立岡谷美術考古館

後援 岡谷市美術会、諏訪美術会

休館日 毎週水曜日、祝日の翌日 [11月4日(木)]

開館時間 10:00 ~ 18:00

入館料 一般520円(370円) 小・中学生260円(160円) ()は10名以上の団体料金

※ 11月3日(水・祝)は開館記念日のため無料です。

※ 諏訪郡内在住・在学の小・中学生、岡谷市内在住・在学の高校生は無料です。

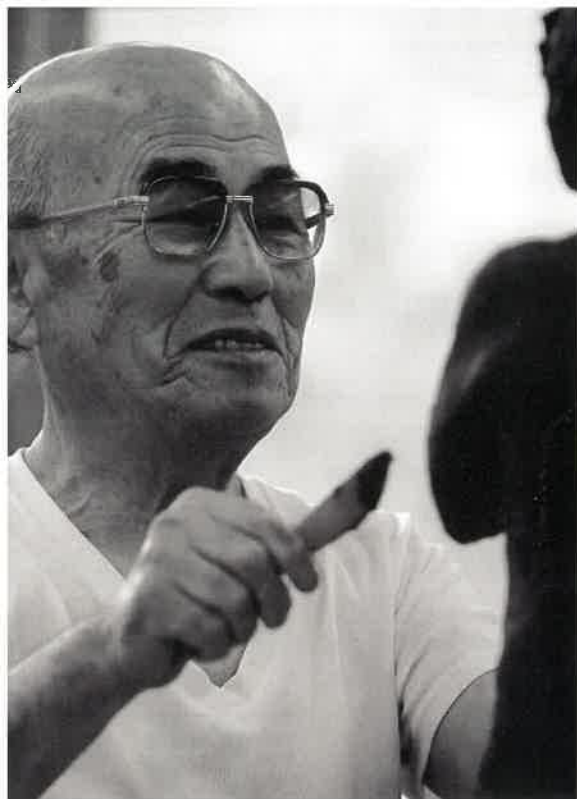


市立 岡谷美術考古館

〒394-0027 岡谷市中央町一丁目9番8号

TEL / 0266-22-5854 FAX / 0266-22-5856

URL <http://www.okaya-museum.jp/>



撮影：河合建

下諏訪町出身の彫刻家 翠川昭久（てるひさ・1928-2016）は、矢崎虎夫に師事し、教職のかたわら、郷土を拠点に制作を続けました。長野県展にて受賞を重ね、1989年には信州美術会事務長・県展幹事長に就任、2000年からは審査員を歴任しました。岡谷市美術会・諏訪美術会の彫刻講習会や、彫刻愛好者の会 彩塑会の講師を務め、多くの後進を育成。作家として、指導者として、現在も多くの人々に親しまれています。

そのほか、1991年より94年まで、岡谷蚕糸博物館・岡谷美術考古館館長を務めるほか、低処高思会・ミレー会・たつのこ会といった美術愛好団体にも所属し、幅広く地域の芸術文化発展に寄与しました。

没後5年を記念した本展では、翠川の作品を通じてその生涯を振り返るとともに、指導を受けた彫刻家11人の作品を展示し、現在活躍中の作家たちや郷土の美術界に与えた影響についても考察します。

みどりかわてるひさ

翠川昭久と 11人の彫刻家

2021年

9月27日【月】-11月14日【日】

展示作家

翠川 昭久	赤羽 晃一	今井 千春	太田 温
久保川 稔	小松 千恵子	小宮山 史仁	中野 和博
中村 政道	三浦 一則	三浦 美保	宮坂 辰男



翠川昭久《老社》
1997年、彫塑用粘土（個人蔵）



翠川昭久《球戯一麗》
1993年、ブロンズ（個人蔵）



市立 岡谷美術考古館

〒394-0027 岡谷市中央町一丁目9番8号

TEL/0266-22-5854 FAX/0266-22-5856 URL <http://www.okaya-museum.jp/>

- JR中央線岡谷駅下車 徒歩5分
- 長野自動車道 岡谷ICから車で10分

休館日 毎週水曜日、祝日の翌日 [11月4日(木)]

開館時間 10:00 ~ 18:00

入館料 一般520円(370円) 小・中学生260円(160円)
()は10名以上の団体料金

※ 11月3日(水・祝)は開館記念日のため無料です。

※ 諏訪郡内在住・在学の小・中学生、岡谷市内在住・在学の高校生は無料です。

